



くわた恭子通信

http://kyoko.moo.jp
zxkyoko@yahoo.co.jp

[無所属]

地域の皆様、お世話になっております。広島市議会議員のくわた恭子です。改選後初めての定例議会が6/5~26に開かれました。今回は一般質問をいたしましたのでその内容を中心に通信を構成いたしました。4年ぶりの本会議場での質問。その場合、準備には不相当の時間を要しますが、調べて質問を作る、自分の考えを整理していく過程は楽しいものと改めて感じました。所属委員会は厚生委員会、高齢者福祉、障害者福祉、原爆と幅広い分野です。勉強しなから取り組んでいます。ご支援よろしくお願ひいたします。



6/23 本会議場一般質問

市長所信表明 財政再建・・・市長のやる気は後退です

松井市長2期目の所信表明が議会初日発表されました。世界に誇れる町づくりが3本の柱で述べられています。これらを着実に実行していくため地方分権改革や行財政改革が不可欠とあり、県市の2重行政の解消や、不断の事務事業の見直し、ハコモノ資産の施設体系の再構築と何をやるのかよくわからない言葉が続き、将来世代に負担を先送りすることがないように行財政改革に取り組んでまいります。と述べられました。

しかし、具体的な効果は言及せず、1期目の所信表明で述べられた自身の退職金の削減や、職員給与の切込みには触れられませんでした。2期目はどう取り組むのか質問したところ・・・

- 退職金については、他の政令市の状況を踏まえ適切な時期に検討したい
- 職員給与については、人事委員勧告を尊重することが基本、今後も人事委員勧告に基づき適切な給与水準を確保することが必要であると考えている。

給与の切込みとは、人事委員会のマイナス勧告によるものでそれ以上の切込みは考えていない旨の答弁でした。財政再建は後退です。1兆円を超える借金を減らす意気込みはありません。そもそも人事委員勧告で給与を減額するという事は、民間と比べて高いので下げましょうということ、切込みでも何でもありません。

ボーナス加算20%を供託しました

6月30日、市長をはじめ職員、議員にボーナスが支給されます。このボーナスに最大で20%の加算がついています。市長、議員については、報酬を1.2倍した額を「期末手当基礎額」とし、これに支給月数を乗じた額が支給額です。平成2年のバブル期に始まった制度で、当時、民間におけるボーナスの支給割合は、役職間の相当の差がある。これを埋めるため、職務段階等を基本とした加算措置を講ずる必要がある。とした国の人事院の勧告を受け広島市も一般職員に加算を導入しました。市長や議員は勧告の対象外ですが一般職に準じています。

市長や議員には、その身分以外の役職はなく、便乗以外の何物でもありません。廃止するべきと、平成21年6月議会で廃止の議案を提案しましたが否決でした。しかし政令市ではありませんが、既に山県市や東京の国分寺市などが廃止しています。

広島市で否決された一番の理由は議員がこの事を知らない事にと思っています。廃止するべきと言いつつ、もう今は筋が通らないので、今回からボーナスの加算部分を供託することにした。引き続き加算廃止に取り組んでまいります。

誰が乗るのかわからない 唐突にアストラムライン延伸発表!

広島 新交通1号線、愛称アストラムラインは、市中心部と安佐南区の住宅地を結ぶ道路の深刻な交通渋滞の解消を目的に、建設が開始されると高速交通のHPにあります。工事開始は、平成元年2月28日。まず、本通駅～長楽寺駅間が工事着手。平成6年10月、広島広域公園を主会場とする広島アジア大会の開催決定を受け、そのアクセス鉄道として、長楽寺駅から広域公園駅まで延長。平成6年8月20日開業しています。工期 約5年5か月 総工費1774億円、本通り駅から広域公園前までの18.4kmが開通、現在に至っています。アストラムラインの延伸計画については、平成11年「新交通西風新都線」として広域公園前駅～JR西広島駅の区間を概ね15年後の完成を目指していました。

平成16年2月、当時の市長の諮問機関、公共事業見直し委員会において、「いったん中止することが適当、広島高速交通の経営改善動向、西風新都の開発動向、および国のインフラ補助制度の動向を踏まえた需要予測と収支を再検証すること。新交通西風新都路線の延長を行わず、関連道路のみを整備する場合の緊急性を再検証すること」との意見を踏まえ現在に至っています。

平成25年6月「世界に誇れるまち」の実現に向け、西風新都都市づくりの全体計画を見直し、アストラムラインの延伸が西風新都のポテンシャルを飛躍的に向上させることができるとして事業決定したものです。15年ぶりに建設費570億円を投じての延伸事業が決定されました。

Q1 まず、だれが利用するのか？
誰が延伸を希望しているのか？

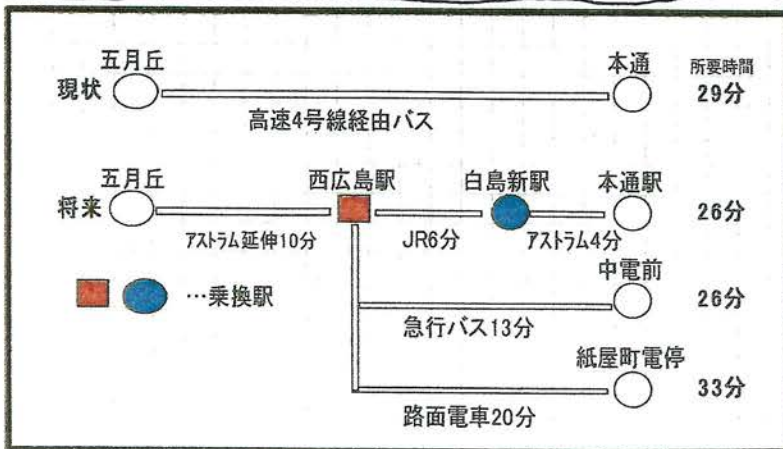
アストラムラインの延伸計画は、市の公共交通機能強化策である。構造、ルート、採算性延伸効果の向上策、財政面からの事業化の見直し広島高速交通(株)への影響など様々な観点から検討し、事業成立性を確認した上で事業化したもの、誰かが希望したかを判断材料にした訳ではない。己斐地区の3団体から要望書を受理

Q3 アストラムの延伸ルートは、民間企業が開発する石内東地区を通る計画である。応分の負担を求めべきではないか？

当該事業の費用の一部を、著しく利益を受ける事業者にも負担してもらうことを検討する。

Q2 延伸にかかる総工費は570億円、高速交通の持ち出しはない。純利益は年間1億2千万円。採算性のある事業と言えるのか？

JR山陽線と接続し、基幹公共交通の環状型にすることでデルタ周辺部から都心へのアクセス性を高めるとともに、西風新都の都市づくりを大きく推進させるために行うものです。このような将来に向けての都市づくりは本来的に行政が担うべきものであり、責任をもって進めていくべきものです。年間、1億2千万円の純利益を見込んでいるのは、高速交通(株)が経営上は採算性のある事業運営を行っていることを明示することで将来の民間資金の導入を促すことにもつながると判断したと答弁。既に白島に接続、大きな効果は期待できない。



事業を拡大するというのは、うまく運営できている事業を拡大するということなら終内得である。計画で当初から多額の借入金負担があり、広島市から長期、短期の資金援助を受けている。570億円の事業費で平成40年初めの完成。採算性とは、その後30年間で740億円の効果が期待できるというもの。実行可能な数字は作れると思う。広域公園前駅から己斐駅までは経費節減のため単線構造、7ヶ月は早くは終わる。また、要望は安佐南区からは出されていない。

上の図は、甘い計画の一端が分かる図、五月丘～本通りまでバスは29分アストラムを利用すれば26分で本通りに着くとこの比較。五月丘からアストラムで己斐駅に行き、己斐からJRで白島新駅に行き再びアストラムで本通りに行く方が早いというのだ。五月丘からこの方法で本通りに行く人は少ない。2回の乗り換えが各3分。10分間隔のJRやアストラムのダイヤ、3分での乗り継ぎは不可能です。

20年ぶりに土曜日授業の検討開始

平成4年9月から子ども達の土曜日が、月1回休みになりました。その後平成7年4月から月2回に拡大平成14年度から「完全学校週5日制」が実施されました。目的は体験を通し、自ら考え自ら学ぶ「生きる力」をはぐくむ教育を実行するためが公式的理由世の中が週休2日になる中、教員の休日を確保するという理由もあったと聞いています。文科省の調査では、平成26年の土曜日の教育活動の実施予定は全国の公立/小中高の約40%、1万3千校が実施。広島市においても平成26年度、小学校2校、中学校2校がモデル的に土曜授業を実施しています。5日制になり地域に開かれた学校になったものの、ある小学校1年生の1週間の時間割は、6時間授業1日、5時間授業が3日、4時間授業が1日となかなか過密なものです。

五日市給食センター民間で運営

佐伯区は、合併時の条件として中学校まで給食を実施しています。佐伯区の給食はセンター方式です。このたび老朽化に伴い、利松の北地区給食センターと五日市中学校隣接の中央地区給食センターを集約し民営で建て替えを行う事としました。広島市はすでに可部給食センターを民間委託しています。民間で給食を作るという事に不安を感じる方々もあるようで議会中、陳情に來られました。教育委員会もPTA理事会へ説明に行くなど周知活動を行っています。民間が運営しても好き勝手な運営ではなく、献立や調理指示、食材の品質規格は広島市が管理します。民間でも公営でも、給食は安全でおいしくなくてはいけません。きちんとした運営を見守っていきます。

「土日が休み」が定着している現状すべての土曜日を授業にせよとは言いませんが、隔週などで授業を行えば平日が余裕を持った時間割になるのではと思います。質問いたしました。

教育委員会の答弁は、教員がより子供と向き合いやすい環境を作るため、土曜日授業を実施した。土曜日授業の課題と効果を検証し、希望する学校から順次実施するというものです。子ども達の事よりも、教職員の代休確保の方が市教委は気になるようでした。

積極的に進めるというものではありませんでしたがゆっくり広がっていくと思います。

来平と平塚の
今の子どもたち
祝してもいいですね
おめでとう



厚生委員会、民生委員補助員配置
について質問。超高齢社会、介護の
担い手は地域になる

湯来町 合併から10年が経過、合併建設計画を延期

平成17年4月25日、広島市は湯来町と合併しました。今年で11年目です。五日市町が昭和60年、広島市と合併し佐伯区となって30年になります。合併建設計画の期間は10年、合併特例債は333億円、これが当初の計画でした。湯来ロッジと周辺整備や上下水道の整備、林道整備など多くの事業が完了していますが、道路整備が遅れています。このため、国の合併特例債の起債できる期間が延期できることになったことを受け、昨年12月議会で、合併建設計画を5年間延長し平成32年までの16年間とすることを可決しています。

遅れている道路整備の中には、国道433号線、通称七曲りの整備があります。当初の計画では、合併建設計画の期間、平成20年代半ばが完成予定でいたが、用地取得や、予定しておいた業者が仕事を辞退したため2年以上、遅れています。平成27年・28年度でトンネル工事を完了する予定。現在業者の募集を行っています。すべての完成予定を平成28年度末と説明していました。一步一步完成に近づいています。

追記: トンネル掘る山は岩盤で、橋が完成してはるかな
も先は岩で、難工事と話していました。

皆様の意見をお待ちしています

中区投票率36.9% 約2/3が選挙に行かない！議会に期待しない！

投票翌日4月13日の新聞報道では「広島最低の41.71%」の見出し、県議選で過去最低だった1995年（平成7年）の47.20%から5.49ポイント下がったとある。2007年（平成19年）から市長、県・市議会が同時に行われるトリプル選挙となった。この時は投票率が大きくアップし市長選挙の投票率は53.75%、佐伯区市議会議員選挙においても55.13%と前回より10ポイント以上アップしています。しかし、その後行われた2回の選挙の投票率はいずれも低調。今回の佐伯区市議会選挙の投票率は44.95%、広島市との合併後9回の選挙が行われていますが、最低の投票率です。

左の表は佐伯区内に43か所ある投票所ごとの投票率の上下位5地区と私が住んでいる彩が丘の投票率を掲載したものです。湯来の投票率は突出して高く、旧佐伯区内では美鈴が丘が高くなっています。

一般的に投票率が低くなると、新人や組織の無い候補は厳しい選挙となります。県議会の無投票区域の増加も投票率を下げる要因。県議選23地区中12地区が無投票です。今後、投票率はさらに低く、県議選の無投票地区は増えていくように思います。危機感を感じた県議会が、選挙公報の検討に着手しました。広島市も選挙公報はありません。

佐伯区全体の平均投票率 44.95% (%)

投票所	投票所施設名	有権者	投票者	投票率
上位5投票所	白川集会所(河内)	68	52	76
	美鈴が丘東街区集会所	4,389	2,527	58
	美鈴が丘西街区集会所	4,077	2,244	55
	薬師が丘第一集会所	2,536	1,380	54
	新宮山荘(石内)	822	436	53
下位5投票所	彩が丘公民館	3,229	1,578	49
	美の里保育園	4,062	1,585	39
	石内公民館	2,494	953	38
	五日市観音小学校体育館	5,698	2,157	38
	五日市中学校体育館	2,669	1,005	38
	三和中学校体育館	4,217	1,555	37
	湯来地区	5,609	3,428	61
全体		109,093	49,035	44.98

はせ 人は選挙に行かないのな...
 5/7に行われた大阪都構想の住民投票の投票率は、66.8% 派手な宣伝に投票日まで選挙活動ができるほど、議員を選ぶ選挙とは少し異なりますが、大都市でこの投票率はすごい！結果僅差ですが、反対が勝利、都構想は白紙になりました、反対を投じたのは70代以上、60代以下は賛成の方が優勢でした。
 有権者が、関心を持つ議論や政策は、選挙のテクニックを上回ると思う。議員の仕事は議案の提案先の国会で選挙権年齢が18以上に引き下げられまして、若い人にも信頼される議会を目指したい。

右の写真は、4月13日月曜日15時、佐伯区役所で行われた当選証書の付与式の様子です。佐伯区長、副区長同席のもと広島市選挙管理委員会より「当選証書」をいただきます。この日6人の市議会議員の内、本人の出席は3人だけでした。私は、後援会みんなでもらった当選証書だと思っているのでいつも事務所のスタッフなど数人で出席しています。

「あなたは佐伯区選挙区において広島市議会議員に当選されました これを証明するために当選証書を付与します」



その場で読み返し、用意された筒に収め持ち帰りました。改めて重みのある当選証書。5036人のご支援により手にすることができたものです。感謝！感謝！です



事務所
 在りて
 いたと
 かしは
 記
 います

発行日 H27年7月7日
 発行者 広島市議会議員 ぐわた 恭子
 〒731-515 佐伯区河内南2-30-2
 TEL929-2930 FAX929-2928
 OPEN 9時～17時(月～金)



*この市政報告は、市政改革ネットワークの承認を得て発行しています。